



2018年8月7日

中小企業向けサイバーセキュリティサービスの第1弾として
「クラウド型WAFサービス」および「UTM監視サービス」の提供を開始

中小企業におけるサイバーセキュリティ対策を支援

SOMPOリスクアマネジメント株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：布施 康、以下「SOMPOリスクア」）は、中小企業向けサイバーセキュリティサービスの第1弾として、9月1日から、「クラウド型WAF^(*1)サービス」および「UTM^(*2)監視サービス」の提供を開始します。

*1 Web Application Firewall の略。ウェブサーバーの前面に配置して通信を解析し、ウェブアプリケーションの脆弱性を突いた攻撃からウェブサイトを守るもの。

*2 Unified Threat Management の略。ファイアウォール、IPS（不正侵入防御システム）、アンチウイルス、アンチスパム、ウェブフィルタリング、アプリケーション制御等の機能をまとめたもの。

1. 背景

近年、企業におけるIT化が進展し、大企業だけでなく、中小企業においても、業務を遂行する上でインターネットの利活用が欠かせないものとなっています。こうしたなか、サイバー攻撃の増加などを背景として、サイバーセキュリティに対する関心やニーズも急速に拡大しています。一方、多くの中小企業において、費用面や技術面での負担の大きさがサイバーセキュリティ対策の導入を妨げており、十分な対策が講じられていないという実態があります。

こうした背景を踏まえ、SOMPOリスクアでは、サイバーセキュリティ対策のエントリーモデルとして、主に中小企業のお客さま向けにサービスの提供を開始することとしました。

2. 今回提供を開始するサービスの概要（各サービスの詳細は、＜別紙1＞＜別紙2＞をご参照。）

(1) サービス名称

- ①「SOMPO CYBER SECURITY クラウド型WAFサービス（CSC-001）」
- ②「SOMPO CYBER SECURITY UTM監視サービス（SIV-001）」

(2) 主な特長

- ①高機能：24時間365日体制でサイバー攻撃をリアルタイムに監視し、お客さま専用の管理画面でサイバー攻撃の状況を可視化します。また、サービス専用の「サイバー保険」が追加費用なしで自動付帯されます。
- ②低コスト：低廉な料金設定に加え、お客さまによる機器の購入が不要であることから、低コストでの導入・運用が可能です。
- ③低負荷：お客さまによる設定作業を最小限に抑え、簡単・迅速に導入することができます。また、面倒な保守運用もSOMPOリスクアで対応します。

3. 今後の展開

SOMPOリスクアは、サービスの提供を通じて、中小企業のお客さまのセキュリティ対策を支援してまいります。

また、技術環境の変化に伴い高度化・巧妙化するサイバー攻撃からお客さまを守るためにサービス内容の拡充を継続し、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスを提供してまいります。

SOMPOリスクアマネジメントについて

SOMPOリスクアマネジメント株式会社は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社を中核とするSOMPOホールディングスのグループ会社です。「リスクマネジメント事業」「ヘルスケア事業」「サイバーセキュリティ事業」を展開し、全社的リスクマネジメント（ERM）、事業継続（BCM・BCP）、健康経営推進支援、特定保健指導・健康相談、メンタルヘルス対策、サイバー攻撃対策などのソリューション・サービスを提供しています。

サービス内容に関するお問い合わせ先

SOMPOリスクアマネジメント株式会社 サイバーセキュリティ事業本部
プロダクト戦略部 [担当：立部、吉田]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：0120-211180（フリーダイヤル）
E-mail：cyber@sompo-rc.co.jp

報道機関の方からのお問い合わせ先

SOMPOリスクアマネジメント株式会社
経営企画部 [担当：田所]
〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル
TEL：03-3349-5468（直通）

以上

<別紙1>「SOMPO CYBER SECURITY クラウド型WAFサービス」の概要

(1) 内容

ウェブサイトやウェブサーバーへの不正アクセスや DDoS 攻撃^(*3)などを遮断し、情報漏えい、ウェブサイト改ざん、サーバーダウンを狙った攻撃などの脅威からお客さまを守ります。

*3 ウェブサーバーに対して複数のコンピューターから大量のリクエストを送信することで、サーバーに膨大な処理負荷を発生させ、サービス停止状態に追い込むことを目的とするネットワーク攻撃。

(2) 特長

- ① WAFセンター（クラウド型）に蓄積された最新の脆弱性情報に基づき、不正なアクセスを24時間365日体制で検知・遮断します。
- ② サイバー攻撃をリアルタイムで確認することが可能です。
- ③ 低廉な料金設定で利用できます。
(1か月あたり19,800円（税抜・初期費用除く）)
- ④ 機器の設置が不要（クラウド型）であり、簡単・迅速に導入可能です。
- ⑤ ソフトウェアの更新や機器のチューニングなどの運用作業は一切不要です。



「SOMPO CYBER SECURITY クラウド型WAFサービス」の利用イメージ

(3) プラン・費用・期間

プラン名	1サイトプラン	
ピークトラフィックの目安	1Mbps まで	
1年契約	初期費用（税抜）	30,000円
	年額費用（税抜）	237,600円

(4) サイバー保険

① 補償内容

- ・ 追加費用は発生しません。
- ・ 補償は最大1,000万円（免責金額0円）です。
- ・ 10Gbps以上のDDoS攻撃とゼロデイ攻撃^(*4)による被害に対応します。

② 対象となる損害

- ・ 第三者への損害賠償（損害賠償金・争訟費用など）
- ・ 事故時の対応および事故後の対策などのために必要な費用（原因調査費用、コールセンター対応費用、データ復旧費用、情報機器修理費用、再発防止実施費用など）

*4 ソフトウェアの脆弱性を標的とした攻撃のうち、脆弱性が発見されてから、開発者によって修正プログラムなどの対策が提供されるまでの時間差を利用して行われる攻撃。

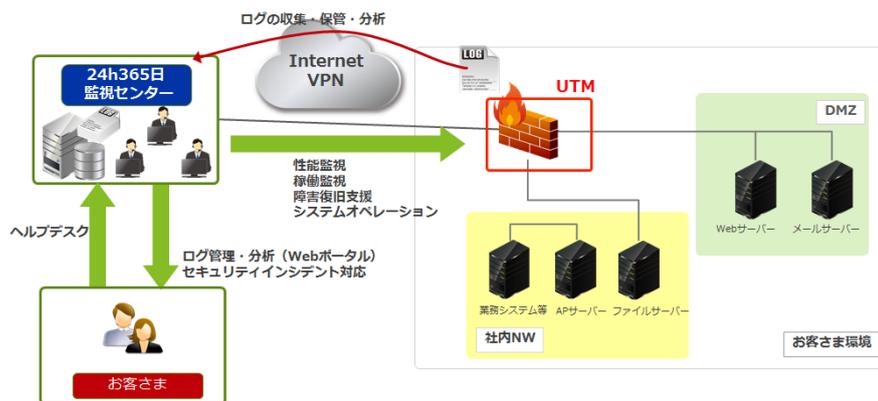
<別紙 2> 「SOMPO CYBER SECURITY UTM監視サービス」の概要

(1) 内容

24 時間 365 日体制の監視センターからお客様のシステムを監視することで、ネットワークの脅威から保護し、安定したシステム稼働の継続をサポートします。

(2) 特長

- ① 外部からの攻撃や内部からの情報漏えいを 24 時間 365 日体制で監視します。
- ② 監視センターから設定作業をすることで、お客様の運用負荷を軽減します。
- ③ 障害発生時にはお客様に大きな負荷をかけることなく復旧を支援します。



「SOMPO CYBER SECURITY UTM監視サービス」の利用イメージ

(3) プラン・費用

セキュリティオペレーションやセキュリティインシデント対応など多くの支援を提供する「ベーシックプラン」と、必要最低限の支援に絞った「エントリープラン」の2つプランを選ぶことができます。

プラン名	エントリープラン			ベーシックプラン	
	レンタル機器	FortiGate 60E	FortiGate 100E	FortiGate 60E	FortiGate 100E
ユーザ数の目安		～100 ユーザ	100～300 ユーザ	～100 ユーザ	100～300 ユーザ
1年契約	初期費用 (税抜)	53,710 円	115,000 円	136,620 円	175,950 円
	年額費用 (税抜)	296,070 円	534,810 円	743,190 円	1,228,950 円

(4) サイバー保険

① 補償内容

- ・ 追加費用は発生しません。
- ・ 補償は最大 100 万円 (免責金額 0 円) です。
- ・ マルウェア (*5) 感染、DDoS 攻撃、他人の情報漏えいによる被害に対応します。
(「UTM監視サービス」対象ネットワークに起因するものに限ります。)

② 対象となる損害

- ・ 第三者への損害賠償 (損害賠償金・争訟費用など)
- ・ 事故時の対応および事故後の対策などのために必要な費用 (原因調査費用、コールセンター対応費用、データ復旧費用、情報機器修理費用、再発防止実施費用など)

*5 不正かつ有害な動作を行う意図で作成された悪意のあるソフトウェアや悪質なコードの総称。